

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」南松本校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・お子様の様子に合わせてパーテーションや机配置の変更等、支援環境の配慮をしている。	・支援の入れ替わりの時間帯（出入りが多い時間帯）は、特に職員間連携を密にし、安全面への配慮を継続。
	②	職員の配置数は適切である	3	2	・支援数の多い曜日は人員配置を多くできるようシフト調整を図っている。	・追加、振替支援のご要望にお応えできるよう、適切な職員配置を心がける。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	・特性に合わせた適切な配慮に努めている。（室内の環境設定、支援内容等）	・事業所が2階にあり、階段の勾配が急になっている。天候不良の際（雨・雪等）は、転倒の危険の無いよう廊下のふき取り作業等の実施を心がける。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・定期的に室温調整、消毒や換気等、感染予防に努めている。	・今後も感染症予防の徹底を図る。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1	・支援の方向性の確認をしたり、活動ごとの評価・反省をしたりするなどPDCAサイクルを意識した業務をしている。	・今後も療育をする上で適切に改善を図れるようPDCAサイクルを意識した行動をしていく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・改善できることは迅速な対応を心がけている。	・改善策の検討を早期にできるよう、今後も努める。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2		・今後も迅速に対応をし、公表ができるように対応する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	・行政からの指導等を受け、適切な業務改善に努めている。	・不備があった場合には、都度改善ができるように引き続き対応をしていく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・定期的な社内研修受講や、必要に応じて外部研修に参加し、自己研鑽を図っている。	・引き続き定期的な研修受講をし、職員の資質向上を図る。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	2		・今後ご利用するお子様、ご家族様の現状に合った支援計画作成ができるよう努める。

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	・会社内統一書式の アセスメントツールを使用。	・アセスメントした内容をスムーズに計画更新に繋げられるよう継続。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・計画作成、更新の際は検討会議を開き、支援に必要な項目を適切に選択できるよう努めている。	・今後もガイドラインに沿った適切な支援の提供ができるよう努める。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0	・計画更新の際は検討会議を開催し、変更点などを確認、付箋等でわかりやすいように工夫している。	・今後も一人一人に合わせた支援が提供できるよう努める。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	・定例ミーティングにて個別利用児の活動プログラムを評価、検討している。	・今後もお子様の様子、ご家族様のご要望等踏まえながら活動の立案を図る。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	・支援担当職員での情報共有の中で、継続・変更等適宜検討している。	・支援のバリエーションが広がるよう研修への積極的参加や他事業所との交流を図り、学べるようにする。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5	0	・お子様の特性や保護者様のご要望に合わせた支援計画作成に努めている。	・今後も一人一人に合わせた支援計画作成ができるよう検討をしていく。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・朝礼時に一日のスケジュールを確認し、変更があれば都度情報共有に努めている。	・情報の追加及び変更があった際には必ず職員間で情報共有をし、連携を図っていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・必要なことは都度職員間で情報共有をし、終礼時に確認するよう心がけている。	・今後もシフト休で出勤しない職員にも必ず情報共有ができるように努める。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・支援記録を共有し、次回支援担当職員へ引き継げるように工夫している。	・次回支援担当の職員へしっかりと情報の引継ぎができるよう、今後も徹底を図る。
	⑳	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・本児の特性に加え、年齢や時期によって必要な支援内容が変わってくるため、園や家庭での様子を伺えるように意識している。	・保護者様のお話を十分に伺いながら更新書類作成ができるよう今後も努める。
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1	・職員によって対応の差が出ないよう、必要な情報を事前共有し参画している。	・業務予定によっては会議出席が困難なケースもあるため、事前に会議参加可能日を伝えたり、必要な情報を参加者へ事前伝達する等、今後も努める。

関係機関 や保護者 との連携	②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	・定期的な周知活動により意見交換をし、情報共有に努めている。	・支援者会議等だけでなく、関係機関訪問等しながら連携を密にしている。
	②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	・該当事案無し。	・看護師職員配置をしていないため、該当事案は無いが、今後受け入れることがあれば関係機関との連携を図れる体制を整える。
	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	・該当事案無し。	・②③同様、看護師職員配置をしていないため、該当事案は無いが、今後受け入れることがあれば関係機関との連携を図れる体制を整える。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・連絡帳のやりとりによって情報共有をしたり、支援者会議があれば参加したりする等、連携を図っている。	・今後もお子様の様子に合わせて必要な情報共有・連携を関係者間で図っていく。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・要請があり次第、支援者会議への出席をしている。	・②⑤同様、お子様の様子に合わせて必要な情報共有・連携を関係者間で図っていく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	・松本圏域関係事業所が集まる、「療育ネットワーク会議」に参加をし、必要な研修案内や情報共有、連携等をしている。	・今後も専門機関との連携を図りながら適切な療育の提供に努める。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5		・プライバシーの観点により交流や活動をする機会はないが、保護者様のご意見を伺ったり近隣のきらりとの情報共有をし、
	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	4		・松本市では2022年度に発足。会議参加、関係者連携が図れるよう努める。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・支援後の保護者様とのフィードバック対応中に、日頃の様子を伺い、共通理解できるように努めている。	・保護者様のご要望によっては別時間帯にも対応ができるよう、引き続き努める。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	5		・感染予防に努めながら、保護者様に集まっていただき開催ができる場を作っていく。
③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・主には契約時にご説明をしている。また、変更があるときにはその都度ご説明ができるよう努めている。	・引き続き丁寧なご説明を心がけ、何か不明点があったときには気軽に相談いただけるようお声がけをする。	

保護者への説明責任等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	・ガイドライン該当項目を基に、個別支援計画作成に努めている。	・今後もお子様一人一人に合わせた個別支援計画作成ができるよう、情報把握・検討会議徹底に努める。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・支援時間帯、または支援とは別時間帯にお越しいただき、困りごとを伺えるよう工夫している。	・今後も電話又は直接来所いただく際にお悩みを伺いながらお気持ちに沿えるよう、さらなる改善に努める。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4		・感染予防策を講じながら保護者同士の交流、連携が図れるよう改善していく。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	・その都度困りごとや支援等で気づくことがあれば、相談内容を伺えるようにしている。	・その日の職員体制によっては十分にお話が伺えないこともあるため、別時間帯でのご提案や職員のシフト勤務体制の見直しをし、改善を図る。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	・小集団療育、イベントの際は LINE 配信やおたよりにてご案内ができるよう工夫している。	・より多くのお子様に参加いただけるよう「〇〇週間」などの週間で小集団療育をする等、模索をする。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	・職員間で十分に確認をしながら個人情報の取扱いに注意をしている。	・今後も個人情報の取り扱いには十分注意をし、支援を提供していく。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・相談やお悩み等をお話しやすい雰囲気作りを心がけている。	・状況によってはお子様と保護者様の仲立ちとなって良い方向へ調整できるよう改善をする。
非常時等の対応	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		・プライバシーの観点から利用するお子様参加での実施がなかなか難しいが、内覧会や事業所の雰囲気を感じていただける機会をもつ等、改善を図る
	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	・マニュアルの読み合わせや対応方法等、毎月定期的に確認をしている。	・お子様参加での実施機会が少ないため、実際に避難をする等の訓練回数を増やせるように改善する。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	・毎月定期的に避難訓練を実施し、非常時に備えている。	・シフトにより出勤職員が日々変わるので、どの職員もどの役割ができるよう今後も継続・改善を図っていく。

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	1	4	・持病、アレルギー等あるお子様は面談時に確認をし、職員間で周知をしている。	・事前にフェイスシートにて確認していることを再周知しながら情報共有へ繋げる。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5	・該当事案無し	・食事提供をしていないため該当しないが、ご兄弟等の食べ物の持ち込みも想定し、今後も職員間で連携を図る。
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		・ヒヤリハット事例を増やしていき事故防止に繋がるようにする。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・定期的な会議、研修伝達に努めている。	・引き続き虐待防止の正しい知識、対応ができるよう努める。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	1	・その都度検討する場をもち、身体拘束適正化に努めている。	・お子様によって状況が違うため、職員間での検討を十分にした上で保護者様への事前説明、同意をいただき対応をする。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」南松本校 保護者等数（児童数）：6名(6名) 回収数：6名 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	1	0	0	・スペースが狭いように感じる。	・ご意見ありがとうございます。全身運動をする際や支援内容によってスペースが必要な場合は、配置調整をしたり少人数で受け入れたりできるよう工夫をしたいと思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0	・建物の階段が急で危険。	・階段が急なため、手すりをつける等バリアフリー化を図っておりますが、共用階段のため可能な範囲で工夫をしたいと思います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	1	・トイレに補助便座があるといい。	・ご意見ありがとうございます。ぜひ検討をさせていただきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	5	0	1	0	・同じ支援内容が多いと感じる。	・支援内容のねらいによっては、「習慣」をつけるために継続することや、同じ支援内容でも伝え方を変えることで、別のアプローチをしていることもございます。お子様によって状況が異なる為、全職員で再度支援内容の見直し・確認をいたします。ご意見ありがとうございます。

	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	0	1	3		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	1	0	2		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	5	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	0	2	3	・他の保護者の方とあまり会わないので、連携は難しいのではないかと感じる。	・貴重なご意見ありがとうございます。なるべく多くの保護者様の都合のつく日に開催できるよう努め、日頃の悩みや困りごとを共有できる時間がとれればと思います。その際はどうぞよろしくお願いたします。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	0	0	1		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	0		
	非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5	0	0	1	・マニュアル等を見ていないためわからない。
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	1	1	・避難訓練に参加ができていないため、わからない。	・月1回避難訓練を実施しております。出入口付近にポスターを掲示しておりますので、ご確認をいただけたらと思います。

満足度	②	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0		
	③	事業所の支援に満足しているか	5	0	0	1	・小集団活動では、友だちとのやり取りや、関わりの多いあそびもしていただけたらと思う。	・ご意見ありがとうございます。小集団の中での個々の成長により繋げられるよう、内容を検討させていただきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。